

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	千葉大学	整理番号	F - 3
拠点のプログラム名称	日本文化型看護学の創出・国際発信拠点 (実践知に基づく看護学の確立と展開)		
中核となる専攻等名	看護学研究科看護学専攻		
事業推進担当者	(リ-ダ-)石垣 和子 外9名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本学が中心となって切り開いてきた日本の看護学の歩みを踏まえ、大学院の教育研究を充実させて、実証的な看護方法論の開発や看護実践の質向上につなげる好機ととらえ、本拠点を形成する。他の専門分野や千葉県下の保健医療福祉機関、海外協定校との協働により、分析視点の広がりや深まり、実践の評価の質・精度の向上、看護教育の質向上などを追求する。また、日本文化と異文化との対比のもとに日本独自の看護実践方法を研究開発し、文化に根ざした看護実践方法開発に役立つ情報を世界に向けて発信する。1) 既存の研究を幅広く収集・整理・分析し、統合する。2) 看護実践評価に有効な測定用具を開発し、1)の結果の臨床的検証により看護学の知識体系の実証性を高め、更なる発展につなげる。3) 国際的な学術交流を通じて日本文化型の看護実践を究明し、体系化する。4) 日本文化に根ざした看護学に精通し、異文化看護の実践に貢献できる人材を育成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>看護学は人間の健康問題を対象とした学問であるが、欧米諸国の知見を範として発展してきた経緯がある。日本文化や生活習慣を基軸にしたわが国独自の看護学を体系化することは、時代の要請に沿った計画と評価できる。看護実践から得た知見を広く収集し、多角的な分析を通して新たな看護学の創出が期待される。</p>			